

## [014]生活体験学習研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1485114>

---

出版情報：生活体験学習研究. 14, 2014-01-25. 日本生活体験学習学会  
バージョン：  
権利関係：

## 日本生活体験学習学会 事務局報告

### I 理事会会議日程

- 第1回理事会 2013年3月23日  
於 福岡県社会教育総合センター
- 第2回理事会 2013年5月18日  
於 福岡市大名公民館
- 第3回理事会 2013年7月13日  
於 福岡市大名公民館
- 第4回理事会 2013年9月1日  
於 別府大学
- 第5回理事会 2013年11月17日  
於 福岡市博多市民センター
- 第6回理事会 2013年12月14日  
於 福岡市大名公民館
- 第7回理事会 2014年1月25日  
於 別府大学

### II 会員実数

- 全105名  
個人会員 104名  
法人会員 1名  
(2013年12月25日 現在)

### III これまでの活動

- 第14回研究大会 開催  
2013年1月26日  
於 熊本大学教育学部
- 地方セミナー  
2012年9月1日  
於 別府大学

※今年は別府大学の協力のもと、9月に地方セミナーを実施した。セミナーでは「働く力と生活体験 ～今、若者に求められている働く力とは何か～」をテーマに、大分大学より市原宏一氏をお招きし、議論を深めた。本学会においては新鮮なテーマでの議論とのなり、第15回研究大会への繋がりのある貴重な機会となった。

- 学会誌第13号の発刊  
2012年1月20日 発行
- 事務局だよりの発行  
2013年4月15日 第15号 発行  
2013年10月25日 第16号 発行  
2013年12月19日 第17号 発行

### IV 総会・理事会での決定事項

#### (1) 第14回総会における決定事項

まず、事務局長が2012年度の会務報告を行い、了承された。次に、2012年度の会計決算報告がなされた。会計監査の山岸治男会員から相違ないとの監査報告がなされ、了承された。また、2013年度の会計予算案を提出し、了承された。

理事会からの報告では、学会誌第13号の発刊について、並びに2013年度も学会誌(第14号)を発刊予定であることが報告され、了承された。また、特集テーマの設定についても検討をしていくことが提案され、了承された。

通信・ホームページについては、2013年度予算にホームページ制作予算を計上し、年内に開設することが提案され、了承された。

#### (2) 第1回理事会での決定事項

第1回理事会では、以下の5点が協議ならびに確認された。

- ① 2013年度の研究活動について研究担当理事より、①研究活動方針、②科学研究費補助金申請について、③地方セミナーについて、④2013年度研究大会(大分大会)の開催準備について、の4点の提案があった。2013年度は地方セミナーを大分で開催することで、研究大会のプレ集会の意味を持たせることなどが提案された。
- ② 学会誌第14号の発刊に向けて紀要編集担当理事から報告があった。エントリーや原稿締め切り日を設定し、第15回研究大会を目標に発行することが確認された。特集の検討もなされたが、従来通り特集は組まずに編集することが確認された。
- ③ 第14回研究大会会場について現地実行委員の長尾秀吉会員(別府大学)と、山崎清男理事(大分大学)との調整を図りながら、今後決定し

ていくことが確認された。

- ④ 学会ホームページについて、制作を外注することが提案され、外注先について今後検討していくことが確認された。
- ⑤ 2014-2015年度役員選挙について、選挙管理委員の選出がなされ、開票までの大まかなスケジュールが確認された。

### (3) 第2回理事会での決定事項

第2回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

- ① 学会誌第14号について、投稿論文、研究ノートの内容が、生活体験学習にそぐわない場合、理事会で検討することが決定した。
- ② 第15回研究大会を、2014年1月26日(日)に別府大学にて開催することが提案され、決定した。なお、第15回研究大会は1日開催とし、懇親会は前日の1月25日(土)に開催することが提案され、決定した。今後第15回研究大会の現地実行委員会を中心に、シンポジウムのテーマ、内容について協議していくことが確認された。またそれに伴い、研究大会のプレ集会という位置づけで、夏に地方セミナーを開催することが検討された。
- ③ 2014-2015年度役員選挙について、選挙管理委員会が立ちあがった事が報告され、選挙までのスケジュールが確認された。
- ④ ホームページについて、広告制作会社 Sprout Japan に制作依頼をすることが決まり、ホームページに掲載する情報について協議された。今後事務局を中心に制作を続けていくこととなった。

### (4) 第3回理事会での決定事項

第3回理事会では、以下の6点が協議の上、承認された。

- ① 学会誌第14号で扱う学術論文、実践論文、研究ノート、書評について、紀要担当理事より報告がなされた。また、第13号の献本が終了したことの報告がなされた。
- ② 地方セミナーを9月1日(日)に別府大学で開催することが提案され、決定した。また、

テーマについての協議がなされ、今後内容について決定していくことが確認された。

- ③ 第15回研究大会の大会テーマおよびシンポジウムテーマの方向性、内容案、組織体制、現段階における準備の進捗状況について確認された。
- ④ 2014-2015年度役員選挙について、有権者の確定がなされた。
- ⑤ 学会ホームページについて、7月を開設目標に制作を進めている旨、事務局より報告がなされた。それに伴い、掲載情報、資料について協議、依頼がなされ、了承された。
- ⑥ 科学研究費補助金申請について、上野事務局長より概要ならびに申請テーマについて提案がなされた。理事会での議論を取りまとめ、今後理事からの意見を集約し、集中的に議論を深めていくことが確認された。

### (5) 第4回理事会での決定事項

第4回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

- ① 学会誌第14号発行に向けて、エントリー状況、学会誌構成案、書評書籍の選定について報告された。
- ② 第15回研究大会のスケジュールおよび内容について確認がなされた。
- ③ 役員選挙にむけての進捗状況と今後のスケジュールについて事務局より確認がなされた。
- ④ ホームページのアドレス、および学会メールアドレスが開設された旨、事務局より報告があった。

HP アドレス：<http://seikatsu-t.org/>

学会メールアドレス：[info@seikatsu-t.org](mailto:info@seikatsu-t.org)

### (6) 第5回理事会での決定事項

第5回理事会では、以下の5点が協議の上、承認された。

- ① 紀要担当理事より、学会誌第14号の編集作業の進捗状況について報告がなされ、学会誌の構成ならびに今後のスケジュールについて了承された。
- ② 第15回研究大会について、シンポジウムにむ

けての準備の進捗状況が研究担当理事より報告された。なお今回は、一般参加者を増やすため、会員参加費1,500円、一般参加は一律500円にしたい旨申し出があり、了承された。

- ③ 第15回総会の司会者は、当日参加者が把握できた段階で検討することが決定した。
- ④ 2014-2015年度役員選挙の開票結果が、選挙管理委員長岡理事の代理で上野事務局長より報告された。選挙投票率は22.4%。今後、候補者への内諾手続きを経て、理事会および総会で承認を得ていくことが確認された。なお、監査役については4名の候補者から理事選出会員を除いた2名の会員に内諾を取ることが決定した。
- ⑤ 科学研究費補助金申請について、今回の選挙投票率を見ても、科研に挑戦するほどの体力は現在無いと判断された。新理事体制になってから、体制を立て直して検討を進めていくことが決定した。

#### (7) 第6回理事会での決定事項

第6回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

- ① 紀要担当理事より、学会誌第14号について編集作業の進捗状況について報告がなされ、研究大会前に発刊すること、そのためのスケジュールについて確認がなされた。
- ② 第15回研究大会について、自由研究発表のタイムスケジュール、発表者の確認がなされ、決定した。
- ③ 第15回総会での報告事項（2013年度活動報告および2014年度活動計画）について確認がなされ、資料の原稿執筆について事務局より関係理事へ依頼がなされた。
- ④ 次期理事についての検討がなされ、総会で提案の後、決定していくことが確認された。